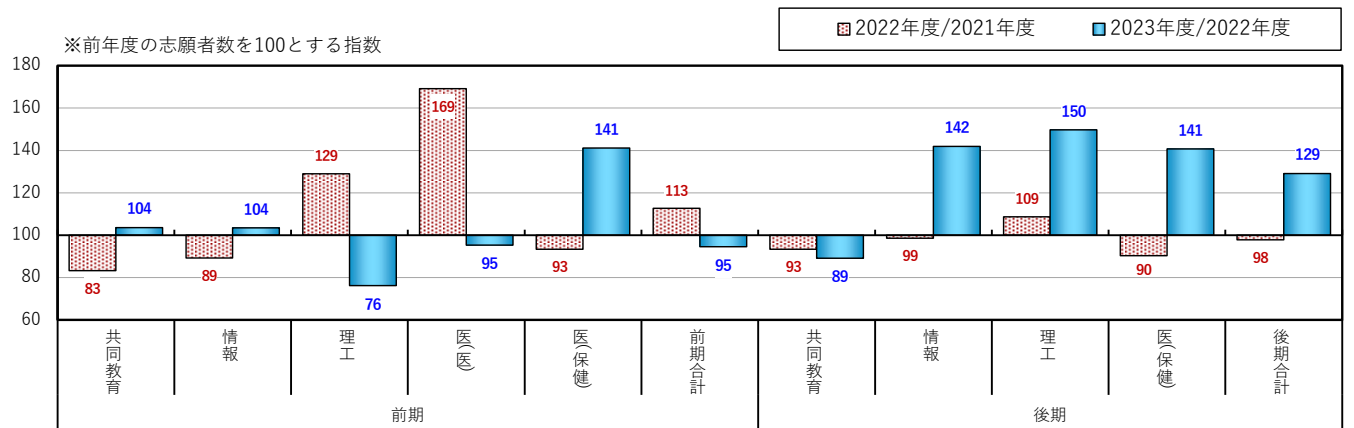


群馬大：前期はやや減少、後期は大幅増加

前期：-86人 後期：+332人



主な入試変更点 個別試験：共同教育(学校教育教員養成／芸術・生活・健康－音楽)＜前＞…実の配点変更
論<200>+面<100>+実<260>=総点<560>→論<200>+面<100>+実<300>=総点<600>

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度増加の反動は小さく、86人(95)のやや減少。後期は332人(129)の大幅増加で4年ぶりに1,400人を上回った。

<前期日程>

- 共同教育(104)**は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。募集単位別では、13募集単位中6募集単位が増加。また、募集人員が少ない募集単位が多いことから増減が極端になりやすく、増加の6募集単位のうち(学校教育教員養成／自然科学－技術)(108)を除いた5募集単位が大幅増加。一方で、減少の5募集単位のうち(学校教育教員養成／自然科学－数学)(94)、(学校教育教員養成／教育人間科学－教育)(86)を除いた3募集単位が大幅減少。
- 情報(104)**は、学部改組後3年目だが、系統への高い人気もあり、前年度減少の反動は小さくやや増加。
- 理工(76)**は、学科改組後3年目だが前年度大幅増加の反動で大幅減少。類別では、(電子・機械)(73)、(物質・環境)(78)のいずれも大幅減少。
- 医(医)(95)**は、前年度激増の反動は小さくやや減少に留まった。学科全体で志願倍率が3倍を超えたために2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は78.9%だった。出願区分別では、(一般枠)(94)は前年度激増の反動は小さくやや減少。一方で、(地域医療枠)(109)は前年度大幅増加に引き続き増加で、志願倍率も4.0倍→5.7倍→6.2倍にアップ。
- 医(保健)(141)**は、大幅増加。専攻別では、(保健／看護学)(202)は3年連続減少の反動で倍増以上で、志願倍率も1.5倍→3.1倍にアップ。(保健／作業療法学)(173)も激増で3年連続増加、(保健／理学療法学)(111)は増加で2年連続増加。一方で、(保健／検査技術科学)(83)は2年連続大幅減少で、志願倍率も2.2倍→1.8倍にダウン。

<後期日程>

- 共同教育(89)**は、減少で2年連続減少。募集単位別では、10募集単位中6募集単位が減少。(学校教育教員養成／芸術・生活・健康－家政)(209)は前年度激減の反動で倍増以上、(学校教育教員養成／人文社会－英語)(154)、(学校教育教員養成／芸術・生活・健康－保健体育)(124)はいずれも大幅増加。一方で、減少の6募集単位のうち(学校教育教員養成／教育人間科学－特別支援教育)(97)を除いた5募集単位は大幅減少で、(学校教育教員養成／自然科学－理科)(55)、(学校教育教員養成／芸術・生活・健康－美術)(56)はいずれもほぼ半減。
- 情報(142)**は、学部改組後3年目だが、系統への高い人気もあり大幅増加。志願倍率も8.5倍→12.1倍とアップ。
- 理工(150)**は、学科改組後3年目だが大幅増加で3年連続増加。類別では、(電子・機械)(198)は前年度大幅減少の反動でほぼ倍増で、志願倍率は6.3倍→12.6倍にアップ。(物質・環境)(126)は2年連続大幅増加で、志願倍率も8.4倍→10.6倍にアップ。
- 医(保健)(141)**は、前年度減少の反動で大幅増加、2020年度以降前年度の反動による増減が継続。専攻別では、(保健／作業療法学)(214)は前年度大幅減少の反動で倍増以上、(保健／看護学)(184)、(保健／理学療法学)(117)はいずれも大幅増加。一方で、(保健／検査技術科学)(81)は大幅減少で2年連続減少。